

# 福田寺だより

東寺伝法学院

発行

神奈川県小田原市飯岡二五七

飯田山 福田 寺

住職 橋本尚信

## 僧侶養成に費やされるエネルギー――

住職 教授としての感想

本山「東寺」に修行僧の姿が帰ってきた。平成十年四月十日、東寺真言宗の子弟教育機関である「東寺伝法学院」で定員の五名を迎えて入学式が行われた。それから九ヶ月、五名の院生は、一学期の基礎的学習を終え、今二学期の加行(百五日間の行法)を十二月二十一日に終えようとしている。これが済むと、後は三学期の実践実習を学び、一人前の僧侶の誕生である。

今時の若い者が、来る日も来る日も、朝三時に起床して、水をかぶって、一日中経文を唱えたり、作務(掃除)をしたり、自由時間は寝る時だけという生活を送っているのである。住職もその昔、二十歳そこそこで同じことをやってきたのである。当時は夢中であったが、今、指導者の立場にたつて見てみると、よくやれたものだと思議な感慨である。それにしても、一人の僧侶を養成

するのは、大変な周囲のエネルギーを要するものである。毎日、寝起きをともしにする寮監をはじめ、数十名の教授陣、まかないの人、事務の人、そして一切の修法を伝える伝授阿闍梨と、この五名の僧侶誕生のために多くの力が結集しているのである。考えてみれば、院生たちは幸せなものである。

住職も自分が修行者の時は、そんなことは一切考えも及ばなかった事だが、いざ、逆の立場にたつと、いろいろなものが見えて来るのである。万全の教育・指導体制によって初めて自分が学ぶ事ができたのだと感謝すると同時に同じように、これを伝える使命を覚えるのである。

こうして、代々受け継がれて来た伝統教団の法流には、にわか宗団のような、危なげな、マインドコントロールもオカルトもないのである。

\*\*\*\*\*  
 \* NHK番組に見た \*  
 \* \* \* \* \*

現代 葬儀 事情

\* \* \* \* \* 高い戒名料は本当か \* \* \* \* \*

先ごろ、NHKの番組で（クロ

ズアップ現代だったと思う）葬儀の

あり方が取り上げられました。民放

では以前から、この種の話題が何回

も報じられているので見飽きた感が

ありましたがNHKでは初めてかと

思われたので、期待して見たのです

が、いささか拍子抜けといった感じ

を受けました。内容は戒名（料）を

主として、現代人の葬儀に対する価

値観の希薄化を述べ、そこから生じ

る、葬式無用論、散骨、高い戒名料

といったよくあるパターン。そして

これらに便乗した商売僧侶の出現、

こうした状況に対する売れっ子宗教

学者のコメントといった具合であっ

たと思う。記憶が定かで無いのは、

あまりインパクトがない、感動する

ものがなかったからだと思います。

ただ、NHK等で取り上げられた

ということは、内容はともかく時代

に即応した問題として、よくよく検

討してみる必要はあると思いますの

で、この紙面で、戒名についての私

見を述べてみたいと思います。

先ず、戒名とは何かというと、仏

教徒として戒律を授かる時にいただ

く名前と考えてよいでしょう。では

戒（戒と律は本来別のもの）とは何

かということですが、在家者に代表

される『五戒』、つまり不殺生戒、

不偷盜戒、不邪淫戒、不妄語戒、不

飲酒戒や、『十善戒』、比丘の『二

百五十戒』比丘尼の『三百四十八戒

』などいろいろです。いずれにしる

これらの戒を授かる時にいただく名

前が戒名である訳です。

では、死後の戒名はどういう意味

があるのかといいますと、仏教徒に

とって、とりわけ真言宗に代表され

る密教にあつては、戒を授かるとい

う第一歩、つまり発心（ほっしん）

が即ち悟りであると捉えますので、

この戒名を授かることはそのまま、

悟りの証明書のような価値があると

考えてよいと思われます。人間の生

命は、生死を超えた世界にあるので

すから、悟りに至る道は、生前であ

ろうと死後であろうと同じでありま

すから、ここに死後に戒名を授かる

意味もあると考えられます。

こう考えてくると、戒名の値段は

何なのかおぼろげながら、見えて来

る気がします。つまり故人が迷いの

無い悟りの世界に居られる証明書（

戒名）に対する代価である訳です。

戒名を付ける僧侶の側は、この戒名によって死者の成仏が決まると思うと真剣です。なかなか故人の自内証（本来備わっている悟りどころ）がわからず、通夜ギリギリまで考え抜くこともあります。これら僧侶に対する布施でもあるわけですが、本質的には故人の悟りに対する価値を、後に残った者が判断するものでしょう。先程、代価という言葉を使いましたが、この言葉は適切でない気がします。戒名に値段がある訳ではなく、我々が死者の悟りに対し、精一杯の敬意を表わした結果のものだと思えます。むしろ、同じ金額でもAさんにとってはほんの小遣い銭にすぎないものが、Bさんにとっては生活費の大半を占める場合もある訳で金額の多寡よりも、布施する側にとって、その金額がどのような価値であるのかといった問題でしょう。「貧女の一灯」の物語にあるように

両親の菩提を弔うために、自分の黒髪を切って、それを売ったお金で灯明を布施した話はあまりにも有名ですが、たった一本の灯明代がその時の彼女にとっては、命に継ぐ大切な黒髪の価値であったのです。この灯明は、両親に対する子としての善行美談を象徴するものとして、今でも高野山奥の院で消えることなく、灯し続けられています。

ところで、戒名は仏弟子（「悟り」の境地を表わしたものですから、当然仏さまの世界にかかわる字句が使われます。仏教に関わる言葉は、本来の意味とまったくかけ離れて、現在一般に使われている場合がありますので、在家の方が誤解することもあるようです。例えば、ある家で先祖に『無学○○』という戒名が付いていて、その当主は「我が家は代々お寺に尽くして来たのに、先祖に無学という名が付いているのはどう

も腑に落ちない」と言っていて、檀那寺に掛け合いにいったそうです。ところが、和尚さまの説明でとんだ恥をかいてしまったとのこと。つまり、無学という言葉は、もともと仏教の言葉で、本来の意味はこれ以上学ぶことが無いほど仏教に精通している人のことをいう言葉なのです。ですから、戒名にこの字句が使われているのは、このご先祖は相当優れた人物であったということ。同じような言葉として、一見良い印象を受けませんが、仏教の言葉としては優れたものが多々あります。話が横道にそれてしまいましたが戒名の必要性や、高い戒名料といった感覚が少しでも薄らいでいただけたら幸いです。

ところで、NHKの番組で、日曜日の朝六時半から、四国八十八カ所を放映しています。こちらの番組の方が心を癒してくれそうです。

哀愁 浄土 願 山 隠 密 甘 露

了 畢 道 徳 善 妙 無 畏 三 密 心 教 師

竹 燈 心 外 慈 慧 士 世 世 願 願 願 願 願 願

新年厄除け薬師護摩供養

申し込み受付中

▼▼▼  
一月八日 午後一時より 修行  
▲▲▲

真言密教には、病気を主に他のあ

らゆる苦しみから逃れる手段として  
薬師如来を奉り、一切の苦難の原因  
を取り除く護摩供養が、千数百年の  
間連綿と受け継がれています。

福田寺の本尊は、この薬師如来さ  
まで、古来よりその靈驗は近在に知  
られております。新年恒例の薬師護  
摩供養会を下記の要領で修行いたし  
ますので、護摩ご希望の方はお申し  
込みください。檀家以外の方でも勿  
論結構です。

記

期日・・・一月八日、午後一時より  
祈禱料・・・三千元

祈禱内容・・・厄難消除(厄よけ)

身体健全、病魔退散、家内安全、  
交通安全、商売繁盛、業運繁栄、  
学業成就、合格祈願、安産祈願、  
子授け祈願、その他

申し込み・・・一月七日まで、電話可  
電話 0465(36)2755  
FAX 0465(37)6688

平成十一年厄年

男性

前厄 昭和三十四年生まれ  
本厄 昭和三十三年生まれ  
後厄 昭和三十二年生まれ

女性

前厄 昭和四十三年生まれ  
本厄 昭和四十二年生まれ  
後厄 昭和四十一年生まれ

元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉  
を開けておきます。

午前0時より一時まで、住職に  
より新年の御祈禱が修法されま  
すので、ご自由に初詣下さい。  
尚、年賀等一切不要ですので念  
の為。

暮れのお参り

古い護摩札やお守りなどは、  
暮れのお参りの時に、本堂入り  
口に用意された納め場所に納め  
て下さい。特に大きなものや、  
燃えないものは、寺の者に連絡  
してください。

おむすびを誂む会

毎月十五日

夜七時半より一時間

参加費用 一人百円

次回 一月十五日

お気軽にどうぞ